

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	新規測定法によるHO <sub>x</sub> サイクルの精密解析とオキシダント・エアロゾル研究の新展開
研究代表者	梶井 克純（京都大学・大学院地球環境学堂・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は数値モデルで予測されるオゾンや SOA（Secondary Organic Aerosol：二次生成有機エアロゾル）が実測に比べて過小評価される原因を解明することを目的としている。目的は明確であり、学術的な意義も高い。これまで応募者はオキシダント動態に関する国際的な成果を上げているが、本研究はその実績を踏まえたものであり、計測、実験、観測、モデルといった個々の要素が有機的に結びつけられている。その成果は大気に関わる環境対策の根拠を与えることにもなるため、社会に対するインパクトも大きく、環境学としての趣旨にかなっている。以上の理由より、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>